

『家庭学習の手引き』

2年()組()番

名前()

岸和田市立久米田中学校

はじめに

子どもたちが、個人として自立し、心豊かな生活を送るためには「自ら学び自ら考える力」が大切です。学習指導要領にも「生きる力」の育成という理念が明確に示され、確かな学力・豊かな人間性・健やかな体をバランスよく育むことが重要であると強調されています。この「知・徳・体」のバランスがとれた「生きる力」は、学校・家庭・地域の連携・協力のもとで育てていくことになります。そのため、家庭では基本的な資質や能力を培っていただくことが大切になります。たとえば、早寝早起き朝ごはんの習慣化、家の手伝い、テレビやゲーム・インターネット・携帯使用の時間などのルール決定、そして家庭学習の定着などです。

そこで、岸和田市学力向上支援委員会で作成された「家庭学習の手引き」をもとに、久米田中学校版として加筆改訂をしましたので、この手引きを家庭学習充実のため、常に手元に置き、ご活用いただけたらと思います。

毎日の予習・復習について

～予習・復習の意義について～

中学校では、自分で学習（自主学習）する意志が重要です。

小学校のように毎日宿題が出ることはありませんが、各教科の進み方によって宿題が出されます。宿題が出された場合は、丁寧に仕上げ、期日までに必ず提出しましょう。

家庭学習には予習と復習があります。

- 予習…授業の前日などに教科書を読んだり、単語を調べたりする学習をいいます。
- 復習…授業が終わった後、教科書を見直す、ノートを整理する、授業でした問題をやり直す、ワークや問題集をやってみる、といった学習をいいます。特に、学校で配られるプリントやワークなどを活用しましょう。

※家庭学習時間の関係で、予習をする余裕がないときは、復習に力を入れましょう。

※教科書やノートを毎日持ち帰りましょう。次の日の授業予定や持ち物、宿題をメモして帰りましょう。

～家庭学習の仕方～

- 「机に向かって座る習慣」を付けることが大切です。
- 机の周りの整理整頓を心がけましょう。
- プリントの整理をしましょう。
- 集中できる環境の方が、効果が上がります。音楽を聞きながら、テレビを見ながら、携帯を触りながらなどの「ながら勉強」はやめましょう。
- 復習に力を入れましょう。
とりかかりは、英単語の復習や漢字練習などの作業からはいると、学習のリズムがつかみやすくなります。

家庭学習の時間のめやす

1時間半以上

～9教科での学習の仕方について～ 予習・復習のポイント

国語

予習

- ① 知らない漢字を調べたり、知らない言葉の意味を調べたりしておきます。(漢字ワーク、国語ワークをする。)
- ② 日頃から文章を読む習慣をつけよう。(朝読書や新聞など)

復習

学習したその日に必ずしましょう。

- ① 声を出して音読します。
- ② 漢字練習などを行い、学習したことを定着させます。(漢字ワークを進める。)
- ③ 授業のノートや、プリントを見て復習し、ワークや問題集に取り組み、応用力を身につけます。

※ワンポイントアドバイス

国語の読む力は、他の全ての教科に結びつきます。ほとんどのテストでは、問題用紙の問題文を読み、問われていることの意味をつかむところから始まります。「読む」「漢字の習慣」をしっかり身につけましょう。また、普段から新聞や本など、身近にあるもので「読む」習慣を身につけておくことが大切です。

宿題・課題

漢字ワーク、国語ワーク、課題プリント、自主学習(漢字ノート、授業ノート)

社会

予習

事前に教科書で次の授業で習うところを読み、重要語句等をまとめていく。

※ 分からない語句の意味を調べ、はっきりさせておくと授業に集中できます。

復習

《地理的分野》

ワークを使い、授業で習った範囲を復習しておきましょう。

※授業内でも、單元ごとに中テストを行い基礎知識の定着を確認します。

《歴史的分野》

ワークを使い、授業で習った範囲を復習しておきましょう。

※授業内でも、單元ごとに中テストを行い基礎知識の定着を確認します。

宿題・課題

授業の予習プリント以外にも、習った範囲からワークを進めていきましょう。

※テスト前に一気にやるのではなく、習う度に確認の意味で進めていくと効果的です。

※ワンポイントアドバイス

《地理的分野》

地図帳や資料を使いこなせるようになることが大事です。知らない地名や国名が出てきたら、すぐに地図帳を開いて確かめる、習った地域についての資料を見ておくことで、より理解が深まります。習慣づけていきましょう。

《歴史的分野》

用語は時代ごとに区別して覚えるようにしましょう。人名や教科書にある重要語句(太文字)は漢字で書けるようにしましょう。人物は、肖像画や行ったことと関連付けて覚えておくと問題を解く際に役立ちます。

数学

- ・ まずは**授業**に全力で取り組んでください。そのために前もって、授業で学習する範囲を教科書で読んでおくことをオススメします。
- ・ わからない問題をわからないままにせずに、班のメンバーや先生に積極的に聞きましょう。
- ・ 授業をがんばって受けた後は、必ず**復習**しましょう！

復習の仕方

- ① まずは教科書、プリントを**その日のうち**に見直しましょう。
- ② 次に、授業で解いた問題を、同じ問題でかまわないので、もう一度解きます。
(その日のうちに必ず紙に書いて解きましょう!)
- ③ 次に、『数学のワーク』の解ける問題をどんどん解いていきましょう。
- ④ わからない所がでてきたら、次の日に必ず質問しましょう。

※ワンポイントアドバイス

- ・ 一度自分で解いた問題を、答えを隠してもう一度解く。
- ・ 特に間違えた問題で繰り返し行くと、同じ間違いをしなくなり、自分の力になります。

毎日の宿題・課題

- ① 復習・・・上の**復習の仕方**を参考にして、知識を定着させましょう。
- ② 自主学習・・・「数学ワーク」や「教科書の章末ごとのまとめの問題」をできる問題からとんどん解いていきましょう。

理科

予習

- ① 事前に教科書を読んでおくことが大切です。
- ② 授業で実験や観察・実習などの前日は、実験のねらい・方法を読み、実験の方法をイメージし、結果を予想してみます。

復習

- ① 教科書と授業プリントに目を通し、その日に学んだことが理解できたかをチェック!そして、新しく出てきた言葉があれば、その意味を理解する。
- ② 実験の操作等で注意することや器具の使い方をチェック!
- ③ 公式や計算問題が出たときは、練習問題を繰り返し行う。
- ④ 実験・観察の図やグラフなどの資料を読み取る力をつけましょう。
- ⑤ 授業のプリントを見て復習し、ワークや問題集に取り組みましょう。

宿題・課題

日々の復習・宿題は、自主学習・白プリント。

余裕があるときに、少しずつ進め、テスト1週間前には終了させよう。

※ワンポイントアドバイス

授業に積極的に取り組むことが第一です。実験や観察などは、積極的に自分でやってみることです。また、実験や観察で何がわかるのか、結果がどうなるのかなどを自分なりの言葉で表現することが大切です。

英語

英語の習得には復習が大切です！

復習

- ① ワークにじっくり取り組む。間違い直しを特に丁寧に！
 - ・その日に習ったことや先生の説明を思い出しながらやりましょう。
 - ・その日習ったことは、その日のうちに習得するよう、わからないまま放っておかないよう、じっくり取り組みましょう。
- ② 教科書の本文やその日のポイントを繰り返し読みます。
- ③ 英単語を繰り返し書いて練習し、覚えるようにします。
- ④ 英文を日本文に直したり、日本文を英文に直したりしてみましょう。
- ⑤ ノートを充実させましょう。

※ワンポイントアドバイス

教科書の本文を暗記できるくらいになると良いです。また、英語に慣れ親しみましょう。例えば、英語の歌を聴いてみたり、知らない単語に出会ったときは辞書で調べたりしましょう。授業がある日だけでなく、できるだけ毎日読んだり書いたりすることが大切です。

英語の歌などを聴いて、英語に慣れ親しみましょう。

知らない単語に出会ったときは辞書で調べましょう。

授業がある日だけでなく、できるだけ毎日英語にふれることが大切です。

予習（もっと力をつけたい人はチャレンジしてみよう）

- ① 新しく出てきた英単語の意味を調べてノートに書きます。
- ② 教科書の本文を読む練習をします。

宿題・課題

ワーク、ノート、英作文練習、can-doリストなど

☆ワークを計画的に取り組めます。その日の復習になるので、効果的です。

音楽

予習

- ①どんな曲をするのか教科書を見ておきましょう。その中で、知らない記号が出てきたら調べておきましょう。
- ②鑑賞のところは、作曲者や作曲者の時代背景などを調べておきましょう。
- ③1、2年生で習ったアルトリコーダーの運指をもう一度確認しておきましょう。

復習

- ①教科書を見て、何度も歌詞を読み覚えましょう。
- ②習った記号などをもう一度確認しましょう。
- ③鑑賞の内容は、もう一度教科書を読んでおきましょう。
- ④アルトリコーダーに関しては、もう一度運指を確認して、練習しておきましょう。
家で音が出せない場合は、音を鳴らさずに指だけでも練習するとよい。

※ワンポイントアドバイス

授業数が少なくテスト範囲も狭いので、授業で配布したプリント、教科書をしっかりと見直しましょう。

宿題・課題

宿題は特にありませんが、授業中にできなかったプリントは次の授業までに提出してください。

美術

《予習》

- ① 教科書・資料集を見る。(眺めるだけでもOKです)
- ② 気になる画家さんや作品を見つける。(できれば調べてみる)
- ③ さらに、気になる表現や技法、知らない言葉などの意味を調べておくと、知識が増えます。
- ④ 美術に関する出来事に興味を持ち、ニュースや新聞にも目を通そう。
- ⑤ 1日に5分でも一つでも、毎日手を動かし描くようにすれば、必ず画力向上します。うまくなりたい人は挑戦してみよう。

《復習》

- ③ 授業でもらったプリントを確認しておきましょう。
- ④ 作品と作者を合わせて覚えよう。(国語科や社会科の勉強にもなります!)
- ⑤ 宿題があれば、次の授業までに仕上げてください。

※ワンポイントアドバイス

話を聞くだけでは難しそうな技法は、授業を实际聞いて勉強する。
週末宿題や長期休みの課題は、必ず提出する!(授業プリント等のお助け点になります)

《宿題・課題》

- ・授業で配布したプリント(宿題になるかどうかは授業で説明します)
- ・長期休暇の課題
- ・授業課題(作品)に関しては、授業中に連絡します。

保健体育

●予習

- ・日々の授業はもちろんですが、部活動や地域クラブなどでも積極的に体を動かしましょう。
- ・また、普段運動をしない人も自主的に運動に取り組んでほしいと思います。
- ・お風呂上りのストレッチなど、日々の生活に取り入れるよう意識しましょう。
- ・次の授業で習う実技においては、実技の教科書を読み予習しましょう。

●復習

- ・学習したその日に必ずしましょう。
- ・授業で聞いたポイントはプリントやノートにメモしましょう！
- ・できなかった部分は、実技の教科書を参考に次の取り組みを見直しましょう。

※ワンポイントアドバイス

体育は、日々の積み重ねも大きくかかわってきます。成長段階にある中学生だからこそ、積極的に体を動かし成長につなげてほしいと思います。

苦手意識は、体をこわばらせてしまいます。何事も楽しむ気持ちと挑戦を大事に、失敗をおそれず頑張ってください！

●宿題・課題

- ・教科書やプリントを使って、振り返り学習しましょう。
- ・体育分野においては、プリントを配布します。レポート等もありますので、きちんと取り組み提出できるよう準備しておきましょう。
- ・保健分野では、教科書をしっかりと読み理解を深めましょう。また、ワークの問題を解いてみるなども有効です！実生活につなげて考えることで、おぼえやすくなります！

技術・家庭科

予習

- ① あらかじめ、教科書の内容に目を通しておくこと。
- ② 生活に身近な内容を学習するため、自分の生活で疑問に思ったことや、工夫できることはないか、自分の生活を見つめなおそう。
- ③ 技術・家庭科に関する出来事に興味を持ち、ニュースや新聞にも目を通そう。
- ④ 実技のテストがある場合は、各自練習しておきましょう。

復習

- ① 学習したプリントやノート、教科書をしっかり確認しましょう。
- ② 日常生活に活かせることは実践してみましょう。
- ③ テスト対策プリントや、確認問題は何度も解きなおしをしましょう。

※ワンポイントアドバイス

プリントやノートをよく見てテスト対策をしっかり取り組みましょう。
提出物や、作品は必ず提出し、実習などにも積極的に参加して下さい。

宿題・課題

- ・プリントやノートの提出
- ・作品やレポートの提出